

[様式2]

杉並区立杉並和泉学園

令和2年度 ソフトテニス 部の活動方針・活動計画

令和2年8月7日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
顧問	小嶋 翔太	比嘉 明朝	元 教員 (顧問経験者)	週1回
顧問	市川 芳彦			
顧問				

2 部員数 1年生5人 2年生6人 3年生 6人 合計17人

(令和2年7月末現在)

	男	女	合計
1年	0	5	5
2年	0	6	6
3年	0	6	6
合計	0	17	17

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた生徒像
「Create・Communicate・Challenge」の3Cの精神(学園魂)を高める。
- (2) 大会などの到達目標
区の大会を始め、どの大会でもベスト8を目指して日々の練習に取り組む。
都大会に出場する。
- (3) 特色ある目標
誰とでも仲良く運動を楽しむ。

4 活動方針

- (1) 生徒の自主性・自発性を大切に活動を行う。
- (2) 学年の過度な序列や生徒間の暴力、教員の体罰等を確実に無くし、部員生徒が毎日の部活動を待ち望む活動を行う。
- (3) 各教科等への学習意欲や責任感、連帯感の涵養等を目指した活動を行う。
- (4) 運動部活動において、生涯に渡り、心身の健康を保持・増進し、明るく豊かなスポーツライフを実現しようとする態度等を育む。

5 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日： 火・木・金・土曜日（試合があれば日曜）

(2) 活動時間： 平日 平日 16:00～18:00（2時間）

休日 13:00～16:00（3時間）

※夏季休業中など暑い時期は、午前に活動時間を変える場合があります。

9:00～12:00（2～3時間）

(3) 休養日：水曜日・日曜日

（ただし、日曜日が大会の時は月曜日を休養日とする）

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	6	生徒会オリエンテーション 部活動紹介 仮入部期間 新入生 入部
	7	東京総合体育大会杉並支部大会
	8	部活動 保護者会 夏季休業中 部活動練習予定（5日程度） 区 夏季研修大会
2 学期	9	区 新人選手権大会
	10	※都 新人選手権大会（個人戦）
	11	※都 新人団体選手権大会（団体戦）
	12	区 冬季学年別研修大会 冬季休業日 部活動練習予定（26～28日まで）
3 学期	1	冬季休業日 部活動練習予定 なし
	2	
	3	区 春季研修大会

(5) 参加予定大会

公式戦：夏季大会、新人大会

その他：冬季学年別研修大会